

2023年6月4日 FICオープンセミナー
ミャンマーの民主化を考える
一国軍による見せかけの「選挙」と日本からできること

ミャンマー情勢 市民社会の望む支援②

キンオンマー Khin Ohmar

NGO プロGRESSIVE・ボイス創設者・会長

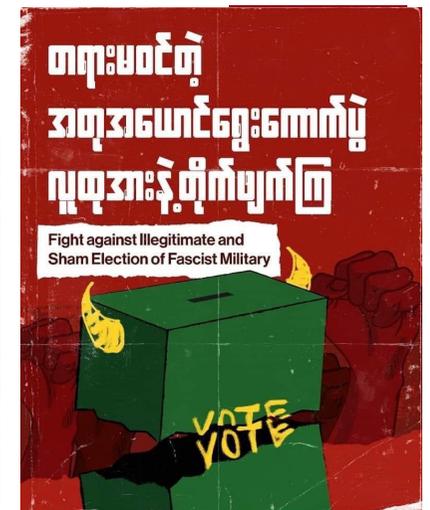
見せかけの選挙

- そもそも軍政は選挙を行う権利を有さない
- 現状のもとでは自由で公正な選挙の実施は不可能
- どんな選挙でも軍政寄りの政党や国軍が支配的になる
- ミャンマーの人びとはこの見せかけの選挙に反対であることを明確に表明

「選挙」に対する抗議行動①



「選挙」に対する抗議行動②



日本の姿勢は？

- 日本政府は「選挙」についての立場を明らかにしていない
- 笹川陽平氏＝「ミャンマー国民和解に関し、関係国政府等と交渉するための日本政府代表」
 - 「民主化の第一歩は選挙。何が何でもやらないといけない」
(2023年2月6日)
 - 「選挙」への支持を表明

ミアウンフラインと握手する笹川氏 (2023年3月)



(写真: DVD)

不明点の多い「ミャンマー国民和解に関し、 関係国政府等と交渉するための日本政府代表」

- 日本政府代表としてのマニフェストや活動の正確な目的や範囲は一般公開されていない
- 2023年4月、ミャンマーの406の市民社会団体が笹川氏に質問状を送付
 - 「選挙」を支持する発言が特使としてのものだったのか？
 - 特使の任務の詳細や、特使としての活動の予算や報酬、特使が日本政府内のどの部署に対して報告義務を負うのかを明らかにしてほしい
 - → 返事なし
- 2023年5月、同じ406団体が日本政府にも同様の質問状を送付
→ 返事なし

メコン・ウォッチの外務省に対する 行政文書開示請求の結果

開示請求番号：2022-00752

開示請求対象行政文書一覧表

【1 / 1頁】 (別紙)

1	行政文書の名称等： 2021年2月1日から本請求を行った2023年3月7日までの期間において、「ミャンマー国民和解に関し、関係国政府等と交渉するための日本政府代表」である笹川陽平日本財団会長が、日本政府代表として日本国外で活動した日時・期間、活動内容（訪問先/面会相手/同席者/訪問趣旨等）が分かる全ての資料
	決定区分： 不開示（不存在）
	決定に係る該当条項：
	決定理由： 当省では該当する文書を作成・取得していないため不開示（不存在）としました。

・外務省大臣官房総務課 公文書監理室
〒100-8919 東京都千代田区霞が関二丁目2番1号
電話：03-5501-8068 FAX：

日本に求めること①



日本は2024年末まで国連安保理非常任理事国

- 2022年12月に採択された安保理決議をふまえ、ジェノサイド、戦争犯罪、そして人道に対する罪について国軍の責任を追究する具体的な措置を取るべき

日本に求めること②



- 見せかけの選挙の実施によって正当性を主張しようとする軍政の動きを強く非難し、ミャンマーの人びとを明確に支持すべき

日本に求めること③



- 現在ミャンマー国軍の支配下で実施されているすべてのODAを直ちに停止すべき
- ミャンマー国民統一政府(NUG) や民族革命組織(ERO)、ミャンマー国内の市民組織の声に耳を傾け、連邦制民主主義国家を設立するというミャンマーの人びとの意志を効果的に支えるべき

日本に求めること④



- 軍政とその関連企業とのビジネスを止めることで、ミャンマーにおける重大な人権侵害への関与を終わらせるべき



<https://progressivevoicemyanmar.org>

ご清聴ありがとうございました